

④ 長後大山道の文化財 解説

実行委員 今井・小林・為田・弥勒寺・渡辺・池内（文責）

今回は、主として藤沢市北部の長後地区、上土棚・下土棚地区と境川流域の高倉・湘南台地区に点在する文化財を訪ねます。小田急長後駅で下車し北へ、県道長後駅入口信号際に「①仙元塚」が見えて来る。1m程の塚であるが、昔は高さ 9m、広さ 25 坪（83 ㎡）もあったと言う。宝永四年（1707）富士山噴火の火山灰を掃き寄せて塚とした。仙元は富士山の浅間の意味、ここには富士講の碑も建つ。塚の前の路地を左に入ると、長後公園に出る。ここが受付で、スタート場所となります。

線路沿いに北へ歩く、生け垣の中に「②豊川稲荷」が祀られている。説明板によれば、鎌倉浄智寺の山門前に安置されていた祠であったが、関東大震災で破壊され、長後村の有志がここに移したと伝える。 稲荷の先に「③本妙寺」があるが、名だけで荒れ寺となっている。

この先 T 地路を左へ、住宅の擁壁が大きな玉石で固められた坂道を下り、引地川の田園地帯に入る。この坂道は、かつて引地川河岸段丘の名残で、昭和期の宅地造成で引地川の氾濫に備えて、水勢を弱める働きを持たせるための玉石であろうか。

北へ 5 分程坂道を上ると、高台に「④長後天満宮」が見えて来る。渋谷基家は、永久三年（1115）武州秩父からここに移り住んで築城（館）、城内に菅原道真公を祀り天満宮とした。江戸時代には旗本朝岡氏の持ち城となって明治まで続いた。朝岡氏三代のお墓は、この先永明寺にある。天満宮境内には市文化財として、朝岡氏寄進寛永十九年（1642）の石灯籠がある。宝珠・笠・仲台・基礎に至るまで完全な形となって今に残る。

坂を下ると「⑤製糸工場跡地」の説明板に出会う。この一帯は製糸工場の跡地であった。明治 20 年頃、長後地区最大の持田製糸工場があり、生糸生産高 4.38ton（6,730 斤）を誇った。繭は座間、厚木からも買い入れ、女工は遠く甲斐、信濃からも来たが、大東亜戦争のため、徐々に衰退していった。

稲穂が頭を垂れる引地川の川沿いに出て南へ歩く、田圃の草取りをしていたお百姓さんにお米の価格を尋ねると、「今までが安すぎたのだ」と言っていた。この炎天下田圃の中を這いずり回る姿を見ると納得する。程なくバスの通る県道 43 号線交差点際に「⑥土地改良記念碑」が建つ。昭和 38 年引地川の氾濫で難渋を極めたが、耕作者一同力を合わせて用水堰、農道、橋等を整備したと、大きな緑泥片岩に刻んだ。

消防署前の小径を南へ、角に「⑦道祖神」が祀られている。双体道祖神で風化して首から上が欠けている。一般的に双体道祖神は、男神と女神が寄り添って手を合わせいる姿が彫られている。村の入口や山の峠等に祀られ、疫病や外敵の侵入を防ぐ守り神、旅の安全、子孫繁栄などの神として信仰されている。

ここから先しばらく、両側に大きな農家が軒を並べる。柘植の生け垣が道を塞ぐ、「⑧永明寺」は生け垣の中にある。山門前にはいきなり六地藏ならぬ八地藏のお迎えだ。臨済宗円覚寺の末寺、創建は永和（1375）年間、江戸時代は長後の地頭朝岡泰勝が中興の祖。高台の墓域に朝岡氏累代のお墓がある。

お寺の堀沿いに東へ坂を登る、途中小さな「⑨地神祠」を見ると、赤い鳥居が目立つ「⑩長田稲荷大神」が鎮座している。畑を整地して玉砂利を敷き、近隣に散在していた石仏等をここに集めて祀った。このお宮、天保七年（1836）下長後の地主達が京都伏見稲荷から分祀して祀ったもの。

稲荷前の小径を辿ればすぐ長後市民センターに到着する「⑪長後市民センター/庚申塔・大山道道標」ここには長後集落の近在から集められた多くの庚申塔、石仏、記念碑等が一か所に集めて保存されている。碑名、碑文は説明があるが、碑の一つひとつが、何処にあったのか明示されていないのが残念である。

市民センターの前が大山道で大山、富士山、箱根連山が道の正面に聳えている。両側は果樹園で梨、ブドウが実り販売もしている。「⑫道路改修碑」を見て大山道を西へ、引地川を渡り夏苧信号で左折、大山道と別れて新道を 200m、土棚北信号を左へ歩くとすぐ右に細い路地を分ける、この道が古道で角に小さな「⑬庚申塔」がある。寛政八年（1796）“みぎ かまくら道 左 ほしのやみち” 相州高座郡渋谷荘と読める。さらにその先 10m で、小さなお堂付き厨子の中に「⑭八臂青面金剛像」がある。文化三年（1806）“左 ほしのやみち”と刻まれている。

ほしのやみちとは“星の谷観音”のことで、坂東 33 観音の一つ、8 番星谷寺（座間市）のことで、県道 43 号線の藤沢・座間・厚木線を歩いて行くのであろうか。7 番札所は金目の光明寺（平塚）であるから方角が少し違うが、湘南台にも“ほしのやみち”の案内があるから、鎌倉からの道があったのであろう。

道なりに坂を下ると耕作整地記念碑の傍らに「⑮双体道祖神」がひっそりとある、左側の像が風化して欠けている。引地川の袂に出る、引地川の洪水対策事業として遊水地公園の工事を進めてきたが、昨年下土棚遊水地管理センターが完成した。14 ㍎、46 万㎡の水が貯水出来る。

引地川を渡ってすぐ左折、住宅地の中に「⑯下土棚白山神社」がある。祭神：伊弉諾尊、素戔鳴尊、下土棚渋谷の里広田氏の鬼門除けの守り神だと云う。外側に反りの入った茶色の土堀沿いに歩くと、引地川の土手に「⑰弘法大師遍路」の碑がある。明治 17 年 3 月建てられたが意味不明。その先に浄土宗

「⑱善然寺」がある。浄土宗、増上寺末 本尊：阿弥陀如来。山門際の銅製の観音像が素敵。交差点角の「⑲水神様」の祠を横目に、県道 22 号線の横浜伊勢原線を横浜方面に向かって歩く。谷戸の信号先で左へ、車も通れない細い路地をグニャ グニャ歩く、小田急線のガード下を潜ると（S コースのゴール）です。

ロングコースはそのまま長後駅東口に出る。線路沿いに歩いて、踏切を渡らずそのまま北へ歩く、小さな路地を右に曲がると、滝山街道（八王子道）と大山街道の交差点に出る。角には「㉑お地藏様」が「質きねや」看板の下にある、風化して破壊されてボロボロの文化財。そして羽根沢呉服店角に「㉒長後鳥瞰図」の案内板がある、立体的で見やすい。そのまま大山道を東へ（戸塚方面）、赤いお堂に収まった「㉓高倉庚申塔」が見えて来る。青面金剛庚申塔が赤いお堂に収まる。享保七年（1722）9 月“大山道” セツ木郷と読めるが大分風化している。道は国道 467 号線を跨線橋で越え、旧大山道を辿る。大山道は左右に屈曲している「㉔如意輪庚申塔」の碑で、ここが確かに大山道であることを証明している。高鎌橋信号で県道 22 号線を渡り高倉方面に歩く。生け垣の中に赤い鳥居とその奥に「㉕稲荷社」がある、昔田圃の傍らにあったお稲荷様が、ここに取り残されたのであろう。そのすぐ先の道端に「㉖二十一夜塔」と説明板がある。明治五年の建立で、“右かしお道”と読める

右折して境川の河岸段丘を南へ、湘南台方面に向かって歩く。崖の駆け上がりに大理石で造られた、神明造りの鳥居が見えて来る「㉗大日如来」明和七年（1770）施主澤野徳右衛門とある。説明板を読むと、戦国時代甲斐武田氏の家臣澤野氏が、武田氏滅亡の時ここに落ち延び、原野を開拓して村の礎を成したと記す。石段を登れば、三つの祠が祀られているが、碑文は読めない。

ここから先文化財は続けて存在しているから、順次説明して行こう。まず藪の陰に「㉘せき神様」（お滝おばあさん）の小さな碑がある。いろいろ説があるが、元禄四年（1691）セツ木村の村民 11 名により堰（？）供養の為、弁財天として造立したと伝える。

続けて、「㉙セツ木神社」が見えて来る。鎌倉幕府を築いた頼朝の父源義朝を祭神とする。総櫓の袖付鳥居はとても珍しく“両部型”と言われる様式で、平安時代に発達した真言密教の「神仏習合思想」に基づいて作られた。すぐ先に「㉚地藏尊」が佇んでいる。5 分程歩くと「㉛東勝寺」の山門が見えて来る。南北朝時代（1300 年代）の創建、臨済宗円覚寺派の禅宗。北条高時が鎌倉東勝寺で滅亡したのを悼み、ここに山号を再び点じたと伝える。

境内を通り抜けると、東勝寺角に「㉜子育て地藏菩薩」が厨子に収まる。延享三年（1746）セツ木村観音講の人達により建立された。敷石の小石を持ち帰り切り傷、おでき、やけどの部位になぞると治るとの言い伝えがある、やってみよう。

坂道を南へ下ると「㉞庚申塔・道祖神」赤い鳥居が立つ“高倉稲荷と石碑群”の案内板が置かれている。小径の四辻の高台に建つ小栗稲荷とも言う。文化八年（1811）鎌倉郡和泉村（現泉区）密蔵院正覚寺から勧請された。稲荷前の崖の駆け上がりには庚申塔、猿田彦、道祖神と 8 基の石塔が並ぶ。南へ湘南台の住宅地を抜けて歩く。L コースゴールの湘南台公園の脇に「㉟地藏尊・庚申塔」が三基祀られている。庚申塔は天保十二年（1841）“南藤沢道 北八王子道”と読める、国道 467 号線に置かれたものをここに移設したのだろう。もう一つの庚申塔には、“ほしのや道”と彫られている。





①仙元塚



②豊川稲荷



③本妙寺



④長後天満宮



⑤製糸工場跡地



⑥土地改良記念碑



⑦道祖神



⑧永明寺



⑨地神様



⑩長田稲荷大神



⑪長後市民センター



⑫道路改修碑



⑬庚申塔



⑭八臂青面金剛像



⑮双体道祖神



⑯下土棚遊水地管理センター (CP)



⑰下土棚白山神社



⑱弘法大師遍路



⑲善然寺



⑳水神様



㉑お地藏様



㉒長後鳥瞰図



㉓高倉庚申塔



㉔如意輪庚申塔



㉕稲荷社



㉖二十三夜塔



㉗大日如来



㉘せき神さま



㉙セツ木神社



㉚地蔵尊



㉛東勝寺 (CP)



㉜子育て地藏菩薩



㉝高倉稲荷・庚申塔・道祖神



㉞地蔵尊・庚申塔



㉟埴輪群



㊱湘南台文化センター

